

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地番)	別紙参照	地目	山林、畑 公衆用道路 水路	面積	6,672.59 m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中・ 工事後	伐採工	②, ⑦	伐採により水源涵養機能が低下するため、地下水の減少、豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。		伐採量を必要最小限とし、緑地を設ける等、低減、代償措置を行う。沈砂池により土砂流入量を抑制する。		
工事中	土工	②, ⑦	掘削、盛土した土や仮置きした堆積土砂等が雨天時に流出し、近隣の沢や河川の濁度が上昇する等、水質に影響を与える可能性がある。		着手後、先行して調整池、沈砂池を設置し蓄積土砂等の流出防止を行う。		
工事後	側溝 集水樹 調整池 沈砂池	②, ⑦	排水側溝、貯砂池及び集水樹に土砂が堆積し、排水や土砂流出防止の機能が低下するおそれがある。		排水側溝、貯砂池及び集水樹に堆積した土砂の撤去を豪雨後に適宜実施し、機能の維持に努める。		
工事後	調整池 沈砂池	⑨, ⑫	雑草が生えやすい時期により、調整池、沈砂池の機能が低下するおそれがある。		雑草が生えやすい時期に適宜観察し草刈りを行い機能の維持に努める。		

(注)1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

- ①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、
- ⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、
- ⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他(具体的な要素を記載すること。)

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。